

授業科目 治療学演習 I

【担当教員名】 亀尾 徹、相馬 俊雄、佐藤 成登志、 椿 淳裕、松本 香好美		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (内 15)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 主観的評価におけるクリニカルリーズニングを演習する。 2. 徒手の理学療法で用いられる姿勢観察、触診などの評価技術を演習する。 3. 徒手の理学療法における治療手技を演習する。 4. スポーツ障害・外傷に対する治療技術を演習する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価から得られた情報を解釈し、原因組織や関連因子を推論することができる。 2. 骨のランドマークや代表的な筋、神経その他の組織を触診することができる。 3. 問診で得られた情報から客観的評価および治療を計画することができる。 4. 治療手技を説明し、実践することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	姿勢観察 触診演習			1～2	実習
2	肩複合体に対する治療アプローチ			2～4	実習
3	股関節に対する治療アプローチ			2～4	実習
4	膝周辺に対する治療アプローチ			2～4	実習
5	腰部・骨盤帯に対する治療アプローチ (1)			2～4	実習
6	腰部・骨盤帯に対する治療アプローチ (2)			2～4	実習
7	クリニカルリーズニングに関するロールプレー (1)			1～4	実習
8	クリニカルリーズニングに関するロールプレー (2)			1～4	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		運動器リハビリテーションの機能 評価 2	David J Magee、陶山哲夫 他翻訳	エルゼビアジャパン	2006・10,500 円
その他の資料					
【評価方法】 実習態度、実技試験			【履修上の留意点】 Tシャツ・短パンの上に医務衣を着用して授業に参加すること		